No１０　下野市立石橋中学校

校長室だより

スローガン　～生徒も先生も、自ら輝く学校～

目指す学校像
『未来を、たくましく生き抜ける生徒』の育成
キーワード「自立・貢献・創造」

令和４年９月１日（木）
発行者　田熊利光

石橋中ホームページＱＲコード→

県総体でも躍動！

７月２２日(金)～３１日（日）に県総合体育大会が行われました。地区総体を勝ち抜いた勢いは、県大会でも止まりませんでした。県大会を勝ち抜き、見事、関東大会を決めたチームや選手のみなさん、おめでとうございます。県の代表として、関東大会での活躍を期待しています。また、惜しくも関東大会を逃したチームや選手の皆さんも、「全力に悔いなし」の戦いぶりでした。部活動を通して、多くのことを学び、人として大きく成長している姿に感動をもらいました。本当によく頑張りました。

令和４年度　栃木県総合体育大会成績一覧（敬称略）

野　球	１回戦対黒磯北２－２　（ＰＯ２回１－０)勝ち ２回戦対益子９－０不戦勝ち　準々決勝対国分寺３－５負け **県大会ベスト８**
男子バスケットボール	１回戦対厚崎８０－７７勝ち　２回戦対上河内８７－６６勝ち ３回戦対鬼怒７９－９８負け　**県大会ベスト８**
女子バスケットボール	１回戦対鹿沼東２０－０　勝ち　２回戦対宝木７４－５５勝ち 準々決勝対美田５４－４１勝ち　決勝リーグ対姿川３６－６８負け 対陽南２６－８３負け　対黒磯北５４－６５負け　**県大会第３位**
女子バレーボール	１回戦対氏家２－０勝ち　２回戦対姿川０－２負け
男子バレーボール	１回戦対上河内０－２負け
男子バドミントン	団体　対清原１－２負け　個人　栗原拓生・本間優心　１回戦敗退 **岡島颯人・髙山慈貴　ベスト８**
女子バドミントン	団体　対益子　０－２負け
男子ハンドボール	準決勝　対大平南２６－２１勝ち 決　勝　対小山三２４－２５負け　**県大会準優勝　関東大会出場**
女子ハンドボール	１回戦対野木　１６－３３負け
男子卓球	団体　１回戦対益子３－２勝ち　２回戦対陽北１－３負け 個人　シングル　横田暖斗２回戦敗退 ダブルス　横田暖斗･大谷一稀　ベスト16
女子卓球	個人　シングルス　今泉絢渚　２回戦敗退 **ダブルス　今泉絢渚・小林怜央奈　第３位**
柔　道	男子団体 ２回戦対鹿沼東５－０勝ち　準々決勝対豊郷３－２勝ち 準決勝対国分寺０－５負け ３位決定戦対國學院　不戦勝ち　**県大会第３位　関東大会出場** 男子個人 ５０kg級　大屋爽空　２回戦敗退 ６０kg級　**渡邉悠生　ベスト８** ７３kg級　**髙山英誉　第３位　関東大会出場** **藤原永逢　第３位** 内田晴輝　２回戦敗退 鈴木望亜　１回戦敗退 ９０kg級　**磯　晟弥　第３位** ９０kg超級　**山口大維斗　ベスト８** **金原大智　ベスト８** 女子団体　１回戦対市貝２－１勝ち　２回戦豊郷０－３負け 女子個人　**磯　結奈　ベスト８**
剣　道	対横川２－１勝ち　対久下田１－１代表戦敗退　ベスト１６
陸上競技	**３年男子走高跳　第２位　庵原拓実** ２年女子１００ｍ　第４位　國府田沙耶 ２年女子２００ｍ　第６位　國府田沙耶 ２年女子１５００ｍ　第８位　黒澤茉央

陸上競技	２年女子４００ｍＲ　第５位 早川日奈子･國府田沙耶･斎藤愛未･黒澤茉央 ３年女子２００ｍ　第５位　中山心菜 ３年女子１００ｍＨ　第６位　粂川未知 ３年女子４００ｍＲ　第６位 木村彩花・中山心菜・髙山優葉・粂川未知 ３年女子走幅跳　第８位　髙山優葉 **関東大会出場者　共通男子走高跳　　庵原拓実** **２年女子１００ｍ　國府田沙耶** ※これまでの大会の結果による選考で、関東大会出場が決定しました。	
水　泳	**前田希音**	**４００Ｍ個人メドレー　１位　関東大会出場** **２００Ｍ個人メドレー　２位　関東大会出場**
吹奏楽	**県吹奏楽コンクール　Ｂ部門予選　金賞**	

県大会観戦記(激闘の軌跡)

地区総体・県総体を観戦し、印象に残った各部の戦いを紹介します。まず、野球部の地区大会。対小山城南中との一戦。この試合は延長戦タイブレーク７回までもつれる激闘でした。何度もピンチを乗り越えての劇的な勝利でした。午後１時にプレイボール、決着が付いたのは午後６時近く。今まで見たこともない長い試合でした。勝利が決まった瞬間、誰もが感動の涙でした。男子バスケットボール部は、３年生が５人しかいません。したがって選手交代による体力温存ができないハンデがあり、前半リードしていても追いつかれ惜敗することが春の大会ではありました。しかし、このハンデをものともせず、県大会はベスト８まで勝ち上がりました。この成長ぶりには驚きました。女子バスケットボール部は、県大会第２シードの宝木中を破り、決勝トーナメントに進む快進撃でした。県大会第３位は快挙です。春からのチームの成長ぶりには目を見張るものがありました。女子バレーボール部は、春は県大会に出場できず悔し涙でしたが、夏は全員がチームのために力を発揮し、県大会出場を決め、嬉し涙に変えることができました。県大会でも、他地区の１位に快勝する戦いぶりに感動しました。柔道男子団体は石中２７年ぶりの関東大会出場を果たしました。準々決勝では、春に惜敗している豊郷中を全員柔道で破り、関東大会を決めました。選手も応援の保護者の方も監督も感動の涙でした。男子ハンドボール部の決勝は、地区大会で負けた小山三中との再戦でした。前半３点リードで折り返しました。後半、相手の疲れも出てきて３人の選手が、足がつったり肉離れのような状態になり、石中有利に見えました。しかし、負傷していた相手エースが残り時間わずかなところで執念のシュートを決め、それが決勝点となり１点差で惜敗しました。最後まで諦めない石中の選手たちも、相手エースの執念も実に見事な戦いでした。剣道男子の２回戦は代表戦にもつれ込む展開となる大接戦でした。代表戦は残念ながら負けてしまいましたが、あの悔し涙は、次のステージで活躍する原動力になると確信しています。

大会を見ることができなかった他の部も、それぞれが全力で戦い、３年生最後の大会にふさわしい戦いができたと顧問の先生から報告がありました。３年生の皆さん、**３年間の部活動で得た学びを、今後の生活や様々な場面で生かし、自分の目標を達成することが、部活動の本当の成果**だと思います。次は、２年生を中心に新たなチームを作っていくことになりますが、３年生の思いを引き継ぎ、各部・各自の目標に向かって、仲間と共に日々努力してください。

「目標がその日その日を支配する」→目標が定まれば、日々やるべきことも自ずと決まる。この言葉は、大正時代の大分県出身の社会教育家、後藤静香（1884-1971）の「第一歩」という詩の一節です。多くのスポーツ選手が座右の銘としている言葉です。

大会の結果報告

<関東大会結果>陸上競技 庵原拓実さん 共通男子走高跳 第３位　おめでとうございます!
<第７回全日本中学女子軟式野球大会>優勝　新井コナさん　8/31に県知事表敬訪問をしたそうです。
９／８には下野市長表敬訪問も予定されています。おめでとうございます!

<市長表敬訪問>

７月２１日(木)に吉田莓檎さんが「マイナビダンス・アライブ・ヒーローズ２０２２ファイナルギッズ部門」準優勝、８月２４日(水)に三好楓花さんが「ザ・ショートストッパーファイナル２０２２teensJAZZ部門」世界１位による下野市長表敬訪問に行ってきました。二人とも自分の目標に向かってひたすら努力したことが今回の結果につながったこと、これからも高い目標に向かって頑張りたいと、市長さんに力強く話していました。これからも、下野市民の希望の星として、活躍を期待しています。